



藤沢市立明治中学校 学校だより

2023年11月27日

明中通信

No. 7

発行 校長 中尾安伸

＜学校教育目標＞ ひと・もの・ことと豊かに関わりながら たくましく生きる生徒の育成

学校ホームページ <http://www.fujisawa-kng.ed.jp/jmeij/>



＜最近、柏の木を見て感じたこと＞

先々週「11月過去最高の気温です」という話があり、校門右手に立つ校章にもつかわれている明中のシンボル、柏の木が温かさに驚いたためか若葉を何枚も出しています(左の写真 カラーはHPにあります)。

また、富士山の雪もほとんどなくなりましたね。それから数日……。急に夏から冬にとんだような寒い日となり、久しぶりに冬の訪れを知らせる木枯らし一号が観測されるという目まぐるしい気温の変動が起きました。あっという間に富士山山頂が雪化粧に戻りましたね。

それでは、秋はどこにいったのでしょうか。ある地方では、雪が降る中、紅葉が見られたと聞きます。それはそれで見慣れない景色、季節が相まって綺麗でしょうけれど……。それだけで良いのでしょうか。

日本の四季。春夏秋冬にはそれぞれの風情がありました。今まで日本人はその季節を楽しみ、それぞれの良さや憂いを心に刻んできました。近年は気候変動による課題が山積。作物や生き物にも深刻な影響を与えています。地球温暖化、気候変動。誰か止めてくれないかな？

仕方ないんでしょうか、変わってしまうこと？ 本当に誰かがどうにかしてくれるかな？

このまま待っていてその誰かに任せていいのでしょうか？ その誰かになるべきでは？

＜久しぶり伝えたいこと＞「嘘をつく少年（寓話）」

羊飼いの少年が、退屈しのぎに「狼が来た！」と嘘をついて騒ぎを起こす。だまされた大人たちは武器を持って出てくるが、徒労に終わる。

少年が繰り返し同じ嘘をついたので、本当に狼が現れた時には大人たちは信用せず、誰も助けに来なかった。そして村の羊は狼に食べられてしまった。



羊は、人々の暮らしには欠かせない動物で、乳、肉、羊毛を採るために飼育されてきた。特に羊毛は、赤子が冬を越すために重宝されたため、羊毛なくして人は増やせなかった。それほど貴重な羊を、狼に食べられたのだから、この村は危機的な状況となる。

これは「人は嘘をつき続けると、たまに本当のことを言っても信じてもらえなくなる。」

↓

「常日頃から正直に生活することで、必要な時に他人から信頼と助けを得ることが出来る。」
という教訓を示した寓話とされる。

「嘘」をつくことは、人を裏切ること。今回の少年はどうだっただろうか。

①「退屈しのぎ」…自分の「退屈しのぎ」に他人を巻き込んでいる。

②「徒労に終わる」…巻き込んだ人たちが騙されたと感じる。

(この時、新たな疑問として、人は何回騙されると信じなくなるのだろうか。私、変ですね)

③「繰り返し同じ嘘をついたので」…何回も同じ嘘をついた。これは何回も同じ嘘というところに⇒「人が言葉に振り回される様子を見て楽しんでいる」ような心理が伺える。

これは⇒「人を裏切ったり」、「人を見下したり」、「発言に責任を持っていない」ことと思う。

嘘の中にも「助けるための嘘」。この時「責任を持つこと」が必要。例えば、狼でなく人が羊を盗みに来たとする。そのときに多くの人を集めるために「狼が来た！」という嘘はどう？

やっぱり嘘はない方がいい。それでものとき、「私はその責任とその覚悟を持っている」と今回の「寓話を考える中」で強く思えた。みなさんは どうですか。保身のためは？……。

＜伝えたいこと(気になる言葉)＞ 「アンコンシャス・バイアス」 ～人間関係～

「アンコンシャス・バイアス」とは、「無意識の思い込み、偏見」と訳され、誰かと話するときや接するときに、これまでに経験したことや、見聞きしたことに照らし合わせて、「この人は〇〇だからこうだろう」「ふつう〇〇だからこうだろう」というように、あらゆるものを「自分なりに解釈する」という脳の機能によって引き起こされるもの。

＜生徒会活動 あいさつ運動＞

毎週水曜日の朝昇降口前に生徒会本部と当番のクラスの人が写真のように「あいさつ運動」をしています。

水曜日が起点となり、みんなが自然にあいさつしあえる日がくるといいね。苦手な人も会釈・アイコンタクトはどうか？



＜天体観察＞

11月21, 22日と本校グラウンドにて天体観測をしました。天候に恵まれ、2日間とも木星や土星がみられました。土星の輪が見えると、話で聞いていたものの自分の目で見た実写は一際心をつかんだようで驚きと喜びが混じった表情をしている生徒が多数いて嬉しかったです。理科の教科担当の先生方ありがとうございました。



多数参加 延べ約 120 人 大きな天体望遠鏡 菊池先生プロデュース

＜藤沢市立ダンス交歓会＞ 23組「天踊統一」ダンス交歓会が11月9日藤沢市市民会館で行われました。本校の代表は2年3組のみなさん。緊張感も感じましたが時折見える笑顔。ダンスを楽しみながらしっかり踊っている姿に感動しました。



＜ある教室の比較(同じクラスなのに 何かがちがう 見づらいけれどわかる?)＞



11月荒天が予想された朝早めに学校に着きました。校舎巡りをすると、ほとんどの教室は左のように整頓されています。

気持ち良い朝が迎えられますね。

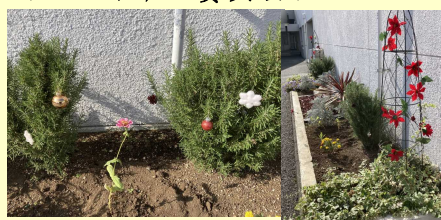
それに加え、多くのクラスは換気もされます。また、左の2つの写真は同じクラスです。1カ所違います?わかりますか?

＜青少協音楽会 11/25＞コンクール等では写真が撮れないため。今回たくさん撮りました。

はじめは県大会出場のクラリネット三重奏。息の合った音色と和音。心に来て、周りの空気が一新するようでした。「センチア序曲」も圧巻でした。音色に余裕と確かな音色とても心地よかったです。次にジブリの世界。いつもそうですが一段と上達した音楽。映像を思い出しながらかきました。そして最後は「宝島」。アレンジもあり楽しめました。「明中の吹奏楽部素晴らしいね。」と、演奏はもちろん他の面でも多くの方から褒められました。羽鳥中も湘南高校も素晴らしいことで、今年も最高の青少協音楽会になりました。感動をありがとうございました。心に響きました。



＜PTA グリーン委員会＞



彩りも飾りもクリスマスバージョンにさせていただきました。みんな目を楽しませてもらう。

＜おやじの会＞後ろの風呂敷は日本で1枚の記念品

明中おやじの会が25周年を迎え、長年にわたる教育活動への支援を続けていただいていることで、この度市教委より感謝状をいただきました。おやじの会のみなさま、本当にありがとうございます。

12月2日の側溝清掃もよろしくお願いいたします。



<新人戦等の様子 部活動もバトンタッチ>

* 吹奏楽部 アンサンブルコンテスト2組とも金賞 クラリネット三重奏は県大会出場

<男子ソフトテニス部> 小松・藤巻ペア 県大会出場



<女子ソフトテニス部>



<ソフトボール部>



<男子バスケットボール部>



<女子バスケットボール部>



<野球部>



<女子剣道部>



＜男子卓球部＞



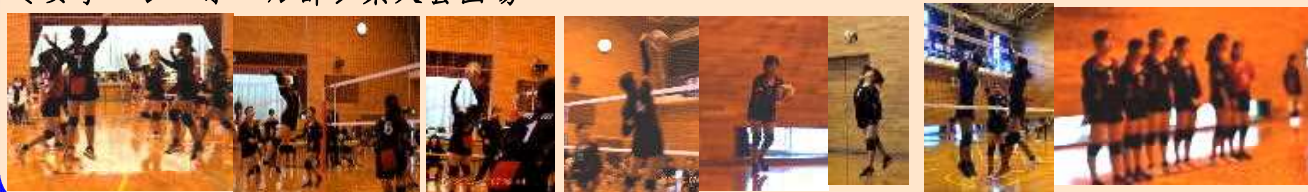
＜男子剣道部＞



＜男子バレーボール部＞県大会出場 湘南大会準優勝



＜女子バレーボール部＞県大会出場



＜サッカー部＞



＜女子卓球部＞



＜陸上競技部＞ 男子総合3位 女子も上位に

